

# 結婚式までの体験談⑥

## 完結編

第219号 2021年5月10日発行

### ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

### 体験談⑥

(これまでのあらすじ)

「見守る保育」の環境設定と挙式を結び付け、プランナーさんとのやり取りを配信してきました。コロナウイルス蔓延の状況を受け、約1年挙式の延期を繰り返してきましたが、式場とコロナ対策を行ったうえで家族のみで式を行いました。

この連載がここまで延びると考えていませんでしたが、今回で完結です！

#### 【関連記事バックナンバー】

結婚式までの体験談① 本誌第151号

結婚式までの体験談② 本誌第155号

結婚式までの体験談③ 本誌第159号

結婚式までの体験談④ 本誌第164号

結婚式までの体験談⑤ 本誌第169号

婚礼祝い 本誌第197号(番外編)



### 「見守る」気づきポイント

#### ✓ 結婚式という「行事」の意味とは

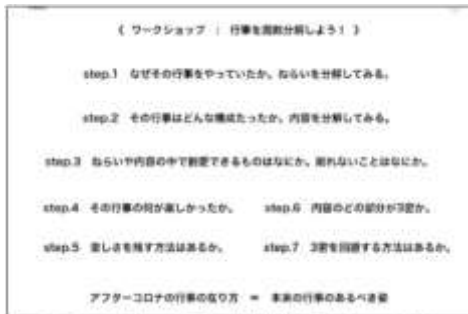
新型コロナウイルスの蔓延に伴い、例年園で行われている行事を中止したり、規模を縮小しての開催など昨年は多くの園でこのことをお聞きしました。カグヤで毎月発行しています[竹取新聞\(第131号\)](#)で、東京都のさくらしんまち保育園の小嶋園長に、コロナ禍において行事をどうされているかをお聞きしたこともありました。

「3蜜を避ける対策」として行事を対応させていこうとすると、人と人との関わりを削ることになります。(中略) 削るからにはこの機会を敢えて好機と転じ、「行事」をさらに深く理解し、何をすることが今の子どもたちにと



竹取新聞 131号

2020年6月12日発行



7つのステップの中に、大切なことが散りばめられていました。

さくらしんまち保育園で行われ  
ワークショップ（行事を因数分解して  
みよう！）



新宿せいが子ども園「成長展」

本誌156号より

って最善の保育となるのか見つめる機会とし…」とお話してくださいました。

さくらしんまち保育園さんで行われたワークショップ（行事を因数分解してみよう！）に照らして結婚式という行事を考えると、（厳密には7つのステップに沿って妻と話していますが）何度も話を繰り返していたこともあり、結果的に7つのステップは踏んでいたことを思います。

「両親に感謝を伝える」が私たちの共通テーマであったため、家族のみで式を行うとの決断は早かったのですが、延期が3回続くと気持ち的には、「もう、やらなくてもいいかな？」と思ったりもしました笑

「行事」は子ども時代に多いことですが、子どもが成長して大人になることを思うと、「行事」を因数分解するというのは、子どもたちを見守っていく上でもですし、親にとっての「行事」とは何かという事を考えさせられました。

## ✓ 結婚式は「成長展！？」

毎年、2・3月頃に行われている「成長展」。5領域で子どもの成長発達が見えるよう様々な工夫がされた掲示や体験コーナー、動画など各園によって形は様々で見学先の「成長展」をいつも楽しく見させて頂いています。身長・体重が大きくなり、お気に入りの遊びがあり、自由にやりたいことが出来る環境は子どもたちの生涯に渡って大切な経験等ののだと感じます。私自身が「見守る保育」の園を卒園したわけではありませんが、両親には好きなことをさせてもらって育ったと感じています。

当初は友人や会社関係の方をお呼びする予定でしたので、二人の生い立ち動画を作る予定で写真を集めていました。その写真を見返しているだけでも、「こんなに小さかったんだ～」と思い出を振り返っていました。家族だけとはいえ、バージンロードを妻とお義父さんが一緒に歩いてくるのを待ち、今度は私が妻と歩いていくというのはやはり緊張感がありました。「はい、誓います」という言葉も、改めて重みのある言葉ですね！笑最後の妻から両親の手紙は、読み始める前からお義父さん、お義母さんがすでに泣きそうで、手紙を読み始めたら号泣していて、それを見て私ももらいそうになりましたが、両親への想い感謝を私自身の言葉でも伝える機会にもなり「見守られているから、見守れるのだ」と改めて感じました。結婚式から「見守る」や「見守る保育」のことを考えてきましたが、これにて完結です！ありがとうございました！